



2024年度(令和6年度)を振り返って

2024年は1月1日の能登半島地震での年明けになりました。事務局の状況把握から支援が始まり、物資、お見舞金、イベント等を実施。2024年8月の東京でのネットワーク会議に輪島のおもちゃ図書館の尾坂さんから直接報告がありました。おもちゃ図書館があって良かったと思いました。気候変動は直後の9月に再び能登を襲いました、豪雨です。本当に胸が痛くなりました。年が明けて2025年2月には北海道から日本海各地に大雪が続きました。太平洋側は乾燥が続き火災(山林火災)があちこちに発生し延焼も続きました。世界中に自然災害が多くなりました、災害が少ないことを祈るばかりです。

こんな中、年齢を重ねる自分自身が出来る行動が限られて来るのです、残念でなりません。今出来ること、この先出来ることを考えた時に「無財の七施」にまだまだ自分にも出来る事があると思い出しました。七つの内の三つ、心慮施「相手の悲しみや喜びを自分の心とすること」、和顔施「相手にやさしい顔、ほほえみで接すること」、愛語施「相手にあたたかい気持ちで、まごころのこもった言葉で語りかけること」です。そして歌手AIの歌「ハピネス」の歌詞「君が笑えばこの世界中に もっともっと幸せが広がる 君が笑えばすべてが良くなる この手でその手をつながる」に笑顔の循環が浮かび、これは私もおもちゃ図書館も続ける事が出来る大切なことだと気づいた一年になりました。



認定特定非営利活動法人
おもちゃの図書館全国連絡会
理事 青塚 和子

TOYらいぶらりあん養成講座・専門研修

おもちゃ図書館だからこそできること
 ~ボランティアがつくる多世代交流の遊びの場~
 日時：2024年11月26日(日) 10:00~12:00
 ZOOMによるオンライン研修会
 参加者：33名

2013年度より、おもちゃ図書館活動やボランティアの資質の向上を目指して、おもちゃの図書館全国連絡会では系統だてた内容で研修を実施しています。

今回は、ZOOMによるオンラインのみで専門研修を開催しました。直接お会いすることができないのは残念ではありますが、一方で北海道から九州まで全国各地から参加できることは、全国組織であるおもちゃ図書館の研修会としては有意義であると感じました。

講座の前半は、全国連絡会鈴木訪子理事長から、おもちゃ図書館が現代の社会の中で果たせる役割や、おもちゃ図書館のあり方など、ボランティアの高齢化がたとえあったとしても、おもちゃ図書館という場が単なる遊び場だけではなく、地域からなくなりつつある「多世代交流の場」として意義があることを確認することができました。

後半では、活動から40周年を迎えた「釧路市おもちゃライブラリー」と「浦和トイライブラリーおもちゃ箱」から事例発表がありました。いずれも40年の活動の中では、継続の危機の時期があり、それをいろいろな工夫で乗り越えてきたことが共通していました。2館からの発表に、参加者それぞれの立場は違いますが、おもちゃ図書館をどう継続していくのか、勇気をもらうことができた発表でした。

路地裏にあった子どもたちと多世代の人々の居場所の機能が
おもちゃ図書館にある!

- 多世代のボランティアがいる
- 地域の子もたちが遊びにくる
- 子どもたちと一緒に保護者があそびにくる
- 障害のある子ども成人した人たちも遊びにくる
- 外国籍の親子が遊びにくる

ひとつ屋根の下に 子どもから大人まで多世代の人々が つどい おもちゃで遊ぶ

子どもと一緒に遊んでくれる、見守ってくれるボランティアさんがいるとホッと一息くることができる

子育ての気になることなど情報や相談ができる

親同士の交流と情報交換ができる

親以外の様々な大人とのであい一緒にあそび ほめてくれたり 子ども同士が、地域の友達との出会いとなる

路地裏にあった子どもたちと多世代の人々の居場所の機能が
おもちゃ図書館にある!

60cm友だち距離まで近づき おしゃべりすることで なかなか言えない「SOS」や「こまりごと」に気づくボランティアさんがいる

暮らしのなかでの困ったことを雑談しながら相談ができる!

雑談力ってすごい!

顔と顔を合わせたコミュニケーションよりラインなどSNSのほうが 気楽という人たちも増えているけれど...

地域の情報が口コミで得られる

・なかなか言葉にできないSOSに気づくボランティア力が育ち 支えあえる地域づくりにつながる

【各地の研修会報告】

☆北海道地区研修会
 日時：2024年10月20日(日)
 札幌市社会福祉総合センター
 *基調報告
 *対談：白石おもちゃ図書館代表此田麗子氏と鈴木訪子理事長
 *ワークショップ：おもちゃ図書館あるあるを「五・七・五」で伝えよう

☆TOYらいぶらりあん養成講座
 埼玉県おもちゃ図書館連絡会との共催
 日時：2024年10月9日(水)
 埼玉県障害者交流センター
 *「おもちゃ図書館を居心地のよい場所にするためのボランティアのあり方とは」(鈴木訪子理事長)
 *グループトーク

おめでとうございます! 永年活動表彰・30年



☆☆下野市おもちゃ図書館きしゃぼっぽ(N0. 373) 栃木県下野市

南河内町の療育相談で1年をかけて、栃木県内のおもちゃ図書館のサポートと全国連絡会からのおもちゃなどの寄贈を受けて、行政や社会福祉協議会、自治医大の地域医療のご支援を賜りまして、平成6年(1994年)4月に南河内町中央公民館の和室で、障がい児者の親子がゆっくりでも力強く前に走り続けるように愛称を「きしゃぼっぽ」として、オープンいたしました。

障がい児の親子が多く参加し、その後の3町合併で、『下野市おもちゃの図書館「きしゃぼっぽ」』と変更して新設された下野市南河内児童館に常に寄り添ってくださった館長さんとおもちゃの図書館のおもちゃと一緒に移転して現在まで活動を続けることが出来ました。

この30年間の間に、行き場の無かった障がい児者は、成長してグループホームへの入所や色々な福祉サービスを利用出来るようになり、子育て支援や日中預かりも充実してきました。私たち障がい児者の親子は、変わらない、皆様の愛のあるご支援のおかげで、優しく頼りがいのあるボランティアさんと、若くて元気な学生ボランティアさんの協力で、活動30周年を迎えることが出来ました。心より感謝申し上げます。(大家薫)



☆☆おもちゃ図書館あぶりこっと(N0.398) 愛知県知多市

知多市おもちゃ図書館あぶりこっとは平成6年に開館いたしました。たくさんの方々に支えていただき、今も継続することができています。今は障害の有無にかかわらず、3歳未満のお子さんもお対象に実施しています。月1回第2土曜日10:00~15:00まで開館、おもちゃの貸し出しも行っています。大変な時期もありましたが、子ども達とのふれあい、笑顔をいっぱい見る時間を楽しんでいます。これからも長く続けていけるように頑張りたいと思います。(中原涼子)



☆☆半田市おもちゃ図書館つみき(N0.408) 愛知県半田市

30周年を迎えるにあたり、『おもちゃ図書館つみき』の運営を担う、「ボランティアグループつみき」のメンバーで30年を振り返りました。それぞれから伝えられたのは、「メンバーへの感謝とリスペクトの気持ち」でした。「ボランティアグループつみき」は、性別の違いに加えて、年齢、経歴等も全く違うメンバーが集まっており、それぞれの得意なこと、好きなことを生かして、補い合い、助け合いながら活動しています。中でも、コロナ禍の時に感染症対策を工夫しながら開館を続けて、おもちゃの貸出だけは途絶えることなく続けたこと、メンバーの準備や片づけに係る負担軽減のためおもちゃの陳列・片づけの棚を作り直したこと、おもちゃの貸出状況や利用者情報の管理をパソコンを使うしくみに変えてくれたことは印象深いです。より良い運営に向けて、意見を伝えあい考えていけるこのメンバーだったからこそ、30年続けてくることができたと感じています。これからも、地域の子どもたちやおもちゃへの愛を胸に、『おもちゃ図書館つみき』が長く続くよう、メンバーとともに活動を続けていきたいです。



(佐野裕子・鈴木花菜)

どうぞよろしく！新入会員の紹介

新入会のおもちゃ図書館をご紹介します！最近では地域の子ども食堂、また子育て中の親が中心となって運営する親子のサロンの活動など、新しいタイプのおもちゃ図書館も増えてきています。特に2024年度は19館の新入会があり、その運営母体は様々ですが、おもちゃ図書館は「みんなちがってみんないい」であり、新入会の皆さんの活動からは今求められているニーズが伝わってきますね。



☆☆トイライブラリーみんな仲良くわくわくえがお(N0.799) 兵庫県神戸市

初めまして。こんにちは。明石海峡大橋や須磨海岸、前身『スマスイ』がリニューアルした『神戸須磨シーワールド』などが近くにある神戸市垂水区塩屋町で『トイライブラリー みんな仲良くわくわくえがお』という名前で、おもちゃ図書館をさせていただいております！

開所からこれまで『どなたでも食堂』というこども食堂の開催時におもちゃ図書館をオープンして、沢山のお子様にご利用して頂きました。これまでは仕事や私用で多忙が続き開催回数が少なく、ニーズに対応する事が出来なかったのですが、来年度からは別棟をリフォームして活用し、週3~4回は開放する予定にしております。地域の子供達が、障がいの有無に関係なく、みんな仲良くえがおで過ごせる場所としてこれからも存在していきたいと思っております。今年度は『新品のおもちゃ』を沢山顶き、充実した遊び場を提供させて頂きました。ありがたい気持ちでいっぱいです！（高井美起子）



☆☆釜石のおもちゃ図書館プラスワン(N0.804) 岩手県釜石市

地域の障害児を持つ家族の集まる場を目的として、2023年9月に岩手県釜石市に開館しました。当初は市所有の空き施設を間借りして活動していましたが、2024年4月からは当法人運営の基幹相談支援センターの一部を利用し、平日は障害児の放課後の居場所としても使用しています。おもちゃ図書館としては月1回の活動ですが、毎回多くの家族に利用して頂いており、設立の目的である家族間交流の場として十分に機能しているものと感じています。また、おもちゃ遊びの他に子供たちが体を動かして遊べるように、エア遊具や大型トランポリンも設置しており、こちらも好評で、リピーターが多いのが特徴です。

地域での関係団体への認知度も高まりつつあり、お蔭さまで多くの助成金や行政支援を受けて活動を行っております。今後は室内でのおもちゃ遊びに留まらず、ユニバーサルビーチやインクルーシブシネマの企画・開催を視野に入れ、活動していきます。（横沢友樹）



☆☆みんなのおもちゃ図書館(N0.807) 長野県箕輪町

私たちは6名のスタッフと、子どもの居場所を開所しています。昼間はフリースクール、夕方は居場所に、多くの子どもたちが来ています。その活動の中で、おもちゃ図書館を毎週月曜日に開館しています。令和7年1月から文庫も同時にオープンしました。

「保育園帰りに遊ぶ場所がない」との声も聞き、「こういった場所があって助かる。」「おもちゃはすぐ飽きちゃうから、レンタルできるのは嬉しい。」ととても喜ばれています。

障害を持っている方も利用されています。ボッチャで遊んだり、昔ながらの遊びやボードゲームは大人も夢中です。

おもちゃ図書館でたくさんのご縁も頂きました。ボランティアをしたいという方も増え大変感謝しています。フリースクールでもみんなでおもちゃで遊びます。おもちゃは小さいころ何も考えず、和やかに遊んだ記憶が蘇る、不思議な存在。みんな遊んだらお片付けや、大切に物を扱うことも学んでいます。(北原智美)



☆☆おもちゃ図書館あまかし(N0.808) 奈良県生駒市

2023年11月12日に念願のおもちゃ図書館あまかしを開館することが出来ました。毎週水曜日の午前中、天理教あまかし分教会を拠点としてたくさんのおもちゃを準備して皆さまの来館をお待ちしております。管理者の予定等もあり、月毎の予定を公式Instagramにアップしてお知らせしています。

開館当初に、全国連絡会から頂いたおもちゃをはじめ、おもちゃ図書館を運営していることを聞き付けた方々がたくさんのおもちゃを寄贈して下さいます。来館下さる方には様々なおもちゃに触れ、思い思いに遊べる場であること、購入するばかりでなく、大切に使うことを伝えられることも喜ばれております。現状は知人を中心とした来館者であります。夫が役員をしていることから自治会で広報して頂いたり、友人には運営方法について共に検討・見直ししてもらうなど周囲の方々のお力をお借りしています。立ち上げた時の思いを忘れずに、大きなことは出来なくても地域の居場所としてたくさんの方に立ち寄って頂けるよう頑張っていきたいと思っております。(北村暁子)



【新設のおもちゃ図書館の傾向について】



コロナ時期を含め長期間にわたって、全国のおもちゃ図書館数はボランティアの高齢化や活動場所の閉鎖など、さまざまな理由で減少していましたが、ここ2・3年、新しいおもちゃ図書館が増えてきました。障害児関連やフリースクールなどの事業所、子ども食堂など居場所の活動、また小規模な私設子育てサロンでの開館が多くなっています。おもちゃ図書館はボランティア活動ではありますが、「おもちゃ」「人(ボランティアや仲間)」「場所」が揃って開館できるものなので、公共の場所を借りることが難しくなっている現状では、こうしてすでに「活動場所」がある方がおもちゃ図書館を取り入れるという形態が増えていきます。

(事務局)

能登半島地震 被災地域の支援について

2024年1月1日発生した能登半島地震では、石川県輪島市、七尾市のおもちゃ図書館は、それぞれ地域全体が大きな被害を受けました。地域のコミュニティ再生において支援活動をすすめていたところ、9月には大雨による水害があり、再び大きな被害を受けました。この間、全国連絡会では輪島わくわくおもちゃの図書館の尾坂理美さんに現地コーディネーターを引き受けていただき、現地の状況に合わせて支援活動を続けてきました。また、全国の皆様から支援金や物品などのご寄付もたくさんいただきました。支援金を活用し、3月には輪島市・七尾市の子どもたちの施設活動支援助成や居場所づくり団体助成(保育園、幼稚園、居場所など現在11か所)も実施しています。被災した地域の子どもたちのために有効に活用してまいります。

【輪島わくわくおもちゃの図書館より】 1月1日の能登半島地震、9月の水害、2月の大雪、怒涛の一年でした。空き地が広がり、町中の風景がどんどん変わっています。そんな中で、全国のおもちゃ図書館を通じた皆様との出会い・ご支援は大きな励みになりました。心から感謝申し上げます。早々に届いた沢山の果物やパン、トマトは新鮮さに飢えていた身体が大喜び、みんなで分け合いました。被災した子ども達が元気になるように！と協働し、5月に「輪くわく子育てサロン」、8月に「輪くわくこどもフェス」を実施、多くの親子やボランティアが久しぶりに集い笑顔が溢れました。北海道や横浜市からの食支援、手作りの会も良い刺激。元気と共に私達の仲間意識の高揚も頂きました。今輪島では子育て世代の流失、遊び場・居場所の不足、教育環境等身近な課題が深刻ですが、「希望」を携え“今日より明日の笑顔のため”進みます。皆様の伴走をよろしく願いいたします。(尾坂里美)



(左)よこはま布えほんぶるーぷによるミニタペストリーづくり
(中)タペストリーを飾ってのクリスマス会

(右)旭川 Mama concierge Wednesday
との親子応援イベント

【七尾市おもちゃ図書館こあらより】 能登半島地震から早くも1年が過ぎ、日常生活においては震災前にもどりつつありますが、災害にあわれた住宅の公費解体や屋根の修理などは業者不足で、まだ半分ほどしか進んでいません。会員の方々の家もまだ屋根にブルーシートが被ったままに冬を迎え、積雪で雨漏りなどに困っている方もいる状況です。

2月5日から8日まで雪が降り続き、七尾市は「顕著な大雪」と全国報道され、近年にない積雪(50cm~60cm)となり、市内の巡回バスも8日9日と運休になりました。2月8日はおもちゃ図書館の日でしたが雪が降り続いていたので、今日は誰も来ないだろうと思っていたところ、開館時間になると「やっと来れたわ」と言って親子が次々と来館し、皆さんたっぷり遊んで行かれました。親子の楽しい会話や笑顔に接し、改めて心地良い又楽しい居場所となれるよう頑張っていこうと思った一日でした。今回の震災で全国のおもちゃ図書館の皆様からのご支援をいただき、心より感謝申し上げます。今後ともよろしく願い申し上げます。



(瀧恵美子)

社協の皆さんとの情報交換会

【社協担当者オンライン情報交換会】

2025年2月5日(水) 10:30~12:00

参加者 14社協15名

- ① 基調報告
- ② 各館の活動状況報告と情報交換

おもちゃ図書館活動は、全国の社会福祉協議会の協力を得て広がってきた経緯があり、地域福祉の要として社協がおもちゃ図書館を設置しているところが多いのも特徴のひとつです。ボランティアの研修はこれまでもありましたが、社協担当者の方は、「初めておもちゃ図書館を担当する」という方も多く、おもちゃ図書館について知っていただくことや、長年担当されている方にとっても課題などを共有する場面がないこともあり、昨年度から交流会を開催しています。今回はグループごとに意見交換をして、ボランティア募集についての取り組みなど、大変参考になる事例を共有することができました。

【おもちゃ図書館県市社協情報交換会】

2025年3月19日(水) 13:30~15:00

参加者 6社協7名

- ① 全国連絡会より事業、助成等説明
- ② 各連絡会より活動報告と情報交換

全国連絡会とは別に、県市の地域連絡会がいくつかあり活動をしています。その連絡会事務局機能を担っていただいている社協や支援していただいている社協の担当者と全国連絡会の情報交換を目的に平成28年度から開催し、今回で8回目となりました。

それぞれの活動報告や課題をお聞きし、身近な繋がりの中での連絡会活動の意義を改めて感じましたが、地域連絡会の活動を継続するためにはおもちゃ図書館の活動そのものが充実することが何より大切だと感じました。今後も各地域連絡会との情報共有をすすめていきたいと思っています。



感謝状を贈呈いたしました

2024年12月13日(金)、多摩市にあるファンタジーリゾート株式会社様の本社にお伺いしました。これは、8月に行われた東京おもちゃショー2024で同社が提供したイベントの売り上げを、全国のおもちゃ図書館のために寄贈していただいたため、感謝状をお届けしたものです。

同社は、子どもたちの遊び場「ファンタジーキッズリゾート」を全国10か所に展開しており、本社併設のキッズリゾートは広さが3千㎡もあり、遊具が様々に配置された楽しい遊びの空間でした。社長の八杉政彦氏と中島優部長に、おもちゃ図書館活動をご説明するとともに、キッズリゾートの事業についてお聞きしたところ、『子どもたちの自主性を育むような遊びの場を提供していきたい』との方針でキッズリゾートの運営を行っているとのことでした。おもちゃ図書館の事業の考えとも一致することもあり、話が弾みました。いただきましたご寄付は、全国のおもちゃ図書館活動に役立てていきたいと思えます。ありがとうございました。



右 全国連絡会鈴木理事長
中 ファンタジーリゾート 八杉様
左 ファンタジーリゾート 中島様

インフォメーション

☆2025年東京おもちゃショー

- 日程：2025年8月28日（木）29日（金）商談日
8月30日（土）31日（日）一般公開日
■会場：東京ビッグサイト（詳細は公式HPをご確認ください）

☆一般財団法人日本おもちゃ図書館財団助成事業 募集中

☆2025年度 おもちゃセットの助成事業

- 1) 既設のおもちゃ図書館対象：おもちゃセット
- 2) 新設のおもちゃ図書館対象：おもちゃセットと備品購入資金

*詳細は一般財団法人日本おもちゃ図書館財団・おもちゃの図書館全国連絡会のHPにてご確認ください。

2025年8月29日（金）

10:00～13:00

全国ネットワーク会議
永年活動表彰
会場：アクロスあらかわ

締切：2025年5月20日

新入会員のご紹介

《NO.829》おもちゃ図書館ふれあいひろば（静岡県浜松市）

《NO.830》おもちゃ図書館みらいLab（埼玉県さいたま市）



～ありがとうございます～

各種ご支援をいただきました。（順不同・敬称略）

☆賛助会費（有）雷屋（株）大久保（株）メガハウス
荒川区リサイクル事業協同組合 相澤純一 稲垣康弘
おもちゃ図書館かみなりくん 千葉礼子 太田貞司 鈴木里美
鈴木拓 星野玲子 児童発達支援センター呉本庄つくし園
乾佐知子 藤田満幸 藤田陽菜子 増田岳洋 増田ゆき
武田美和子 吉住美代 大山朝子 佐伯万里子 西峯行雄
鈴木隆子（株）東工務店 あしかがおもちゃの図書館
おもちゃの図書館あるむトイクラブ 高田修治 清水基弘
中士幌おもちゃの図書館ぱんぷきん 子ども発達支援センターからふる おもちゃの図書館きりん 井上ミヤコ
特定非営利活動法人コスモスクラブ 安倍啓子 榊原かず子 おもちゃ図書館まごころ 石河不砂 伊部美智恵
山田順子 今井直樹（株）グローバル・パートナーズ・コンサルティング 小野信一 猪狩廣美 岸節子
蓮の音こども園メリーゴーランド 小牧敦子 福岡おもちゃ図書館ぽけっと めだかおもちゃ図書館
恵美須文枝 岸江ちづ子（NPO）ワークショップひなたぼっこ つくしの会おもちゃ図書館 今井昌子
浅野富士枝 マリクリスティーン ニ子おもちゃ図書館ぽっぽ 川上明子 山下和子 増田喜代子 渡辺昌行
安達健司 中嶋健三 一本松おもちゃ図書館あゆみくらぶ おもちゃ図書館泉北じゃがいも広場 金順子
みんなのふくろう食堂おもちゃ図書館 松本おもちゃの家 いいじまおもちゃの図書館 岩崎美由紀 風間友子
苫小牧市おもちゃライブラリー 新居浜市おもちゃ図書館きしゃポッポ

☆寄付 奥村周市 ファンタジーリゾート（株）（株）サクラパートナーズ
藤田満幸 丸山朱里（株）make 小泉康代

☆被災地支援金 山田順子 大住恒子 こばとおもちゃのとしよかん 匿名

☆物品寄付（株）ビスモーゲン ハズプロジャパン合同会社
傾聴ボランティアグループダンボの会（株）メガハウス

☆日版良い本いっぱい文庫 日本出版販売（株）・日本児童図書販売協会
より全国102か所のおもちゃ図書館にたくさんの絵本や児童書を寄贈していただきました。

《ご支援のお願い》

当連絡会は、子どもたちの様々なニーズに応え、地域福祉の要となる各地域の「おもちゃ図書館」を応援しています。ぜひ皆さまからのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

【賛助会費・寄付の口座】

三井住友銀行 町屋支店
口座番号 普通7013930
（口座名） 特定非営利活動法人
おもちゃの図書館全国連絡会

【震災支援金の口座】

ゆうちょ銀行
（振替口座） 記号 00100-1-551506
口座名：NPO 法人おもちゃの図書館全国連絡会
（他の金融機関からのお振込）
（当座）店名：〇一九（ゼロイチキュード）
口座番号：0551506

※事務局あてに申込書をご提出ください。

*全国連絡会公式LINE
登録をお願いします

写真などの
送信に便利です



＜編集後記＞

この冬は記録的な降雪と大規模な山林火災に見舞われました。被害にあわれた方々、心よりお見舞い申し上げます。物価高が続き、子ども食堂の需要が増えているようです。子ども食堂の映像を見るたびに、食堂の片隅にミニおもちゃ図書館のようなコーナーがあると良いのになぁ！と思います。今後もおもちゃ図書館とのコラボが増えることを願っております。（安達）（編集委員：安達・岸・篠原・園山・藤井）